

問 以下の新聞記事を読み、記事の内容を踏まえたうえでキャリアデザインに関してあなたの意見を自由に述べよ。

今どきインターンといえば、就業体験の学生のこと。しかし若き女性経営者のもとに配属されたのは、70歳の元サラリーマンだった。映画「マイ・インターン」で、ロバート・デニーロが渋く演じている。最初は疎まれたものの、次第に会社に不可欠な存在になっていく。経営者の悩みに寄り添い、同僚たちに生活の助言をするログイン前の続き。話をよく聞き、決して目立とうとしない。願わくは、こんな格好いいおじいさんになれば。職場で恋人までつくってしまうのは出来すぎとしても。

高齢者の社会への貢献を侮ってはいけない。そんな報告書を世界保健機関がまとめた。納税や消費はもちろん、お金では計れない役割を家族や地域で果たしている。だから「医療や介護など高齢者に使うお金は『コスト』ではなく、『投資』である」と。発想の転換を求めている。

日本は、手本になりうる。健康寿命を延ばそうと各地でがんばっているし、働くシニアも増えている。「日本の取り組みを世界に向け発信してほしい」とは、機関のチャン事務局長の言葉である。

もっとも良い見本ばかりではない。新国立競技場の建設計画をめぐる混乱では、「トップヘビー」が問題とされた。森喜朗元首相ら重鎮たちの存在が大きすぎることの弊害である。どこの世界でも、大先輩に期待されるのは経験の重みだろう。しかし経験は、ときに傲慢（ごうまん）に転じる。「老害」なるどぎつい言い方に代わる言葉があるとすれば「老益」か。そこに至るには、謙虚さがある。

出所：天声人語『「老益」に至るみち』朝日新聞 朝刊[東京] 2015/10/18